安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	06-5148-9	**版**	14.03
発行日	2025/05/08	**前発行日**	2024/03/19

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
EC-776

３M ストックナンバー
JS-0776-0100-8　　JS-0776-0300-4　　JS-3000-2881-3

7010719932　　7010719933

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
一般用接着剤

1.3. 会社情報
供給者　スリーエム ジャパン株式会社
所在地　本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門　テープ・接着剤製品技術部
電話番号　042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分２
急性毒性（吸入）： 区分４
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分１
皮膚腐食性/刺激性： 区分１
皮膚感作性： 区分１
発がん性： 区分１
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分３
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分２

水生環境有害性 短期（急性） : 区分３
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
炎　腐食性　感嘆符　健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H332	吸入すると有害
H336	眠気又はめまいのおそれ
H350	発がんのおそれ
H371	臓器の障害のおそれ： 血液ないし造血組織。 心・血管系。 神経系。 腎臓。 呼吸器
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 血液ないし造血組織。 心・血管系。 肝臓。 腎臓。 呼吸器
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。
P101	医学的な助言が必要なときには，製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280D	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P363	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P314	気分が悪いときは，医師の診断／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
メチルエチルケトン	78-93-3	33
メチルイソブチルケトン	108-10-1	33
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	9003-18-3	10 - 20
クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	9039-25-2	10 - 20
エタノール	64-17-5	6.4
フェノール	108-95-2	1.5
酢酸エチル	141-78-6	0.1 - 1
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	0.45
メタノール	67-56-1	0.25
ホルムアルデヒド	50-00-0	0.15

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。付着した衣類は脱ぐ。直ちに医療機関を受診する。衣類は再使用する前に洗濯する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

気道を刺激する（咳、くしゃみ、鼻汁、頭痛、嗄声、鼻や喉の痛み）。 皮膚の熱傷（局所的な発赤、腫れ、かゆみ、激しい痛み、水疱、組織破壊）。 アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。 中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。 標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。 長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。　本製品では予想されない。

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。　ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
子供の手の届かないところに置くこと。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　静電気放電に対する予防措置を講ずること。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。　指定された個人保護具を使用する。　着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気

装置を選定してください。　輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ACGIH	TWA：20ppm、STEL：75ppm	A3: 動物発がん性物質
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	JSOH OELs	TWA(推奨)(8時間):82 mg/m3 (20ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。（皮膚）
フェノール	108-95-2	ACGIH	TWA：5ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収の危険性
フェノール	108-95-2	JSOH OELs	TWA（８時間）：19 mg/m3（5 ppm）	皮膚
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	ACGIH	TWA（吸入性分画および蒸気）： 20 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収の危険性
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	ISHL	TLV（８時間）：５ ppm	
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：２２ mg/m3(5pppm)	皮膚
酢酸エチル	141-78-6	ACGIH	TWA：400ppm	
酢酸エチル	141-78-6	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
酢酸エチル	141-78-6	JSOH OELs	TWA（８時間）：720 mg/m3(200 ppm)	
ホルムアルデヒド	50-00-0	ACGIH	TWA:0.1 ppm；STEL:0.3 ppm	A1: ヒトに対する発がん性物質, 皮膚 / 呼吸器感作性物質
ホルムアルデヒド	50-00-0	ISHL	TLV（8時間）：0.1 ppm	
ホルムアルデヒド	50-00-0	JSOH OELs	TWA（８時間）：0.12 mg/m3（0.1 ppm）；CEIL：0.24 mg/m3（0.2 ppm）	２A：ヒトに対しておそらく発がん性がある。皮膚感作性。おそらく呼吸器感作性がある。
マゼンタ色	50-00-0	JSOH OELs	限界値は未設定	2B: ヒトに対して発が

				ん性の可能性がある。
エタノール	64-17-5	ACGIH	STEL：1000 ppm	A3: 動物発がん性物質
メタノール	67-56-1	ACGIH	TWA：200ppm、STEL：250ppm	皮膚吸収の危険性。
メタノール	67-56-1	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
メタノール	67-56-1	JSOH OELs	TWA（８時間）：260 mg/m3(200 ppm)	皮膚
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA:75 ppm;STEL:150 ppm	皮膚吸収の危険性。
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA（推奨)(8 時間):221 mg/m3（75 ppm)	皮膚

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA：American Industrial Hygiene Association
ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値)：労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。　防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き酸性ガス用防毒マスク
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	透明褐色
臭い	特徴的なケトン
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	約 73 °C
引火点	-7 °C
蒸発速度	>=1 ［*参照基準：*酢酸ブチル=1］
引火性	引火性液体： 区分２
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	>=1 ［*参照基準：*空気＝１］
比重	0.88 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	>=365 °C
分解温度	*データはない。*
動粘度	570 mm2/sec
揮発性有機化合物	651 g/l
揮発分	74 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
未確定

混触危険物質
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
アルデヒド	特段の規定はない。
炭化水素類	特段の規定はない。
一酸化炭素	特段の規定はない。
二酸化炭素	特段の規定はない。
シアン化水素	特段の規定はない。
ケトン類	特段の規定はない。
窒素酸化物	特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
吸入すると有害　呼吸器アレルギーのヒトにおける反応：　呼吸困難、喘鳴および胸部狭窄などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
皮膚薬傷（化学性腐食）： 発赤、腫脹、かゆみ、痛み、水疱形成、潰瘍形成、か皮形成、瘢痕形成などの症状。
皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
飲み込むと、健康障害を起こすことがある。　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。
その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
心臓への影響：不整脈、脈拍数の変動、心筋障害、心不全などが発現し、死に至ることがある。　造血器系への影響：虚脱感、倦怠感、血球数変化などの症状。　中枢神経機能の抑制：　頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。　神経への影響：　性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。　吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。　腎臓・膀胱への影響：　尿量の変化、下腹部又は腰の痛み、尿中蛋白の増加、血中尿素窒素の増加、血尿、排尿痛などの症状。

長時間又は反復暴露した場合：
心臓への影響：不整脈、脈拍数の変動、心筋障害、心不全などが発現し、死に至ることがある。　造血器系への影響：虚脱感、倦怠感、血球数変化などの症状。　肝臓への影響：食欲減退、体重減少、疲労、虚弱、腹部圧痛及び黄疸などの症状。　神経への影響：　性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。　吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。　腎臓・膀胱への影響：　尿量の変化、下腹部又は腰の痛み、尿中蛋白の増加、血中尿素窒素の増加、血尿、排尿痛などの症状。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性
発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

追加情報

この製品はエタノールを含有する。アルコール飲料およびそれらに含有するエタノールは、IARCの調査でヒトに発がん性があると報告されている。またアルコール飲料には発生毒性および肝毒性がある。本製品の通常使用においては発がん、発生毒性、肝毒性の発現は予想されない。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >20 - =50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
メチルイソブチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 16,000 mg/kg
メチルイソブチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50　11 mg/l
メチルイソブチルケトン	経口摂取	ラット	LD50　3,038 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50　34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50　2,737 mg/kg
クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	吸入－粉塵/ミスト		LC50 推定値＞ 12.5 mg/l
クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg

アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,000 mg/kg
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
エタノール	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,800 mg/kg
エタノール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 124.7 mg/l
エタノール	経口摂取	ラット	LD50 17,800 mg/kg
フェノール	吸入－蒸気		LC50 推定値 2 - 10 mg/l
フェノール	皮膚	ラット	LD50 670 mg/kg
フェノール	経口摂取	ラット	LD50 340 mg/kg
クレゾール酸（クレゾールを含む）	皮膚	ラット	LD50 620 mg/kg
クレゾール酸（クレゾールを含む）	経口摂取	ラット	LD50 242 mg/kg
酢酸エチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 18,000 mg/kg
酢酸エチル	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 70.5 mg/l
酢酸エチル	経口摂取	ラット	LD50 5,620 mg/kg
メタノール	皮膚		LD50 推定値 1,000 - 2,000 mg/kg
メタノール	吸入－蒸気		LC50 推定値 10 - 20 mg/l
メタノール	経口摂取		LD50 推定値 50 - 300 mg/kg
ホルムアルデヒド	皮膚	ウサギ	LD50 270 mg/kg
ホルムアルデヒド	吸入ーガス (4 時間)	ラット	LC50 470 ppm
ホルムアルデヒド	経口摂取	ラット	LD50 800 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	専門家による判断	刺激性なし
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	専門家による判断	刺激性なし
エタノール	ウサギ	刺激性なし
フェノール	ラット	腐食性
クレゾール酸（クレゾールを含む）	ウサギ	腐食性
酢酸エチル	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
メタノール	ウサギ	軽度の刺激
ホルムアルデヒド	公的な分類	腐食性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	専門家による判断	軽度の刺激
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	専門家による判断	刺激性なし
エタノール	ウサギ	激しい刺激
フェノール	ウサギ	腐食性
クレゾール酸（クレゾールを含む）	類似健康有害性	腐食性
酢酸エチル	ウサギ	軽度の刺激

メタノール	ウサギ	中程度の刺激
ホルムアルデヒド	公的な分類	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
メチルイソブチルケトン	モルモット	区分に該当しない。
エタノール	ヒト	区分に該当しない。
フェノール	モルモット	区分に該当しない。
酢酸エチル	モルモット	区分に該当しない。
メタノール	モルモット	区分に該当しない。
ホルムアルデヒド	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ホルムアルデヒド	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
メチルイソブチルケトン	In vitro	変異原性なし
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
エタノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エタノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
クレゾール酸（クレゾールを含む）	In vivo	変異原性なし
クレゾール酸（クレゾールを含む）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酢酸エチル	In vitro	変異原性なし
酢酸エチル	In vivo	変異原性なし
メタノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホルムアルデヒド	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホルムアルデヒド	In vivo	変異原性

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし
エタノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

フェノール	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
クレゾール酸（クレゾールを含む）	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
クレゾール酸（クレゾールを含む）	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタノール	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
ホルムアルデヒド	特段の規定はない。	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	器官発生期
メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
エタノール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 38 mg/l	妊娠期間中
エタノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5,200 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
フェノール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 321 mg/kg/日	2 世代
フェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 321 mg/kg/日	2 世代
フェノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/日	器官発生期
クレゾール酸（クレゾールを含む）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 450 mg/kg/日	2 世代
クレゾール酸（クレゾールを含む）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 450 mg/kg/日	2 世代
クレゾール酸（クレゾールを含む）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 175 mg/kg/日	器官発生期
メタノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg/日	21 日
メタノール	経口摂取	発生機能に有毒	マウス	LOAEL 4,000 mg/kg/日	器官発生期
メタノール	吸入した場合	発生機能に有毒	マウス	NOAEL 1.3 mg/l	器官発生期
ホルムアルデヒド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg	適用しない。
ホルムアルデヒド	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 ppm	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	LOAEL 0.1 mg/l	2 時間

メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	脈管系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 入手できない	入手できない
メチルイソブチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 900 mg/kg	適用しない。
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。
エタノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	LOAEL 9.4 mg/l	入手できない
エタノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
エタノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg	
フェノール	皮膚	造血システム	臓器への影響	ラット	LOAEL 108 mg/kg	入手できない
フェノール	皮膚	心臓 | 神経系 | 腎臓および膀胱	臓器への影響	ラット	LOAEL 107 mg/kg	24 時間
フェノール	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	入手できない
フェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	入手できない
フェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	臓器への影響	ラット	NOAEL 120 mg/kg/日	適用しない。
フェノール	経口摂取	呼吸器系	臓器への影響	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
フェノール	経口摂取	内分泌系 | 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 224 mg/kg	適用しない。
フェノール	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
クレゾール酸（クレゾールを含む）	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
クレゾール酸（クレゾールを含む）	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 68 mg/kg	
酢酸エチル	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
酢酸エチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
酢酸エチル	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メタノール	吸入した場合	失明	臓器への影響	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メタノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	入手できない
メタノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 入手できない	6 時間

メタノール	経口摂取	失明	臓器への影響	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
メタノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器系	臓器への影響	ラット	LOAEL 128 ppm	6 時間
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.8 mg/l	2 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.4 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.1 mg/l	14 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	内分泌系 | 造血器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	心臓 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/day	120 日
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓 | 腎臓および膀胱 | 心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 免疫システム | 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	7 日
メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 173 mg/kg/day	90 日
エタノール	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ウサギ	LOAEL 124 mg/l	365 日
エタノール	吸入した場合	造血器系 | 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25 mg/l	14 日
エタノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 8,000 mg/kg/day	4 月
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg/day	7 日
フェノール	皮膚	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ウサギ	LOAEL 260 mg/kg/day	18 日
フェノール	吸入した場合	心臓 | 肝臓 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	モルモット	LOAEL 0.1 mg/l	41 日

フェノール	吸入した場合	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	多種類の動物種	LOAEL 0.1 mg/l	14 日
フェノール	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
フェノール	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.1 mg/l	2 週
フェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 12 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	造血器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	マウス	LOAEL 1.8 mg/kg/day	28 日
フェノール	経口摂取	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 308 mg/kg/day	13 週
フェノール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 40 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 40 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1.8 mg/kg/day	28 日
フェノール	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	皮膚 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,204 mg/kg/day	103 週
クレゾール酸（クレゾールを含む）	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 450 mg/kg/day	90 日
クレゾール酸（クレゾールを含む）	経口摂取	造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,024 mg/kg/day	90 日
酢酸エチル	吸入した場合	内分泌系 | 肝臓 | 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.043 mg/l	90 日
酢酸エチル	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ウサギ	LOAEL 16 mg/l	40 日
酢酸エチル	経口摂取	造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3,600 mg/kg/day	90 日
メタノール	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6.55 mg/l	4 週
メタノール	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 13.1 mg/l	6 週
メタノール	経口摂取	肝臓 | 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	90 日
ホルムアルデヒド	皮膚	呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 80 mg/kg/day	60 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.3 ppm	28 月
ホルムアルデヒド	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 20 ppm	13 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 15 ppm	3 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 10 ppm	13 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	内分泌系 | 免疫システム | 筋肉 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 ppm	28 月
ホルムアルデヒド	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 ppm	2 年
ホルムアルデヒド	吸入した場合	眼 | 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.3 ppm	2 年
ホルムアルデヒド	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 14.3 ppm	2 年

ホルムアルデヒド	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 20 mg/kg/day	4 週
ホルムアルデヒド	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 mg/kg/day	24 月
ホルムアルデヒド	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 109 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 呼吸器系 ｜ 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	皮膚 ｜ 筋肉 ｜ 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 109 mg/kg/day	2 年

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
メチルイソブチルケトン	陽性データはあるが、分類には不十分。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	9003-18-3	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	9039-25-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
酢酸エチル	141-78-6	バクテリア	実験	18 時間	EC10	2,900 mg/l

酢酸エチル	141-78-6	魚	実験	96 時間	LC50	212.5 mg/l
酢酸エチル	141-78-6	無脊椎動物	実験	48 時間	EC50	165 mg/l
酢酸エチル	141-78-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
酢酸エチル	141-78-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	2.4 mg/l
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	液状化	推定値	3 時間	EC50	461.4 mg/l
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	魚	推定値	96 時間	LC50	3.36 mg/l
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	魚	推定値	96 時間	LC50	4.4 mg/l
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7.7 mg/l
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	32 日	NOEC	1.35 mg/l
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	1 mg/l
エタノール	64-17-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	14,200 mg/l
エタノール	64-17-5	魚	実験	96 時間	LC50	11,000 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	275 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	5,012 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	11.5 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	10 日	NOEC	9.6 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	4.89 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ストライプドバス	実験	96 時間	LC50	6.7 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	5.8 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	メダカ	実験	28 日	NOEC	>=48 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>=6.4 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	液状化	実験	3 時間	EC50	19
メタノール	67-56-1	藻類または他の水生植物	実験	96 時間	EC50	16.9 mg/l
メタノール	67-56-1	海産二枚貝(ムール貝)	実験	96 時間	LC50	15,900 mg/l
メタノール	67-56-1	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	15,400 mg/l
メタノール	67-56-1	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	22,000 mg/l

メタノール	67-56-1	底生生物	実験	96 時間	LC50	54,890 mg/l
メタノール	67-56-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	3,289 mg/l
メタノール	67-56-1	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	9.96 mg/l
メタノール	67-56-1	メダカ	実験	8.33 日	NOEC	158,000 mg/l
メタノール	67-56-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	122 mg/l
メタノール	67-56-1	液状化	実験	3 時間	IC50	>1,000 mg/l
メタノール	67-56-1	大麦	実験	14 日	EC50	15,492 mg/kg (乾燥重量)
メタノール	67-56-1	シマミミズ	実験	63 日	EC50	26,646 mg/kg (乾燥重量)
メタノール	67-56-1	トビムシ	実験	28 日	EC50	5,683 mg/kg (乾燥重量)
メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	1,289 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,150 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	緑藻類	実験	96 時間	EC50	400 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>200 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>179 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	32 日	NOEC	56.2 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	78 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	液状化	実験	30 分	EC50	>1,000
フェノール	108-95-2	バクテリア	実験	24 時間	IC50	21 mg/l
フェノール	108-95-2	緑藻類	実験	96 時間	EC50	61.1 mg/l
フェノール	108-95-2	ニジマス	実験	96 時間	LC50	8.9 mg/l
フェノール	108-95-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.1 mg/l
フェノール	108-95-2	魚	実験	60 日	NOEC	0.077 mg/l
フェノール	108-95-2	ミジンコ	実験	16 日	NOEC	0.16 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル

アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	9003-18-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	9039-25-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酢酸エチル	141-78-6	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	94 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
酢酸エチル	141-78-6	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	20.0 日 (t 1/2)	
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	65 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
エタノール	64-17-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	89 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	99 DOC除去%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生分解性	160 日	生物学的酸素要求量	99.5 %BOD/COD	OECD 303A - 模擬好気性下
メタノール	67-56-1	実験 生分解性	3 日	%	91 %	
メタノール	67-56-1	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	92 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
メタノール	67-56-1	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	35 日 (t 1/2)	
メタノール	67-56-1	実験 好気性土壌代謝	5 日	二酸化炭素の発生	53.4 CO2発生量/理論CO2発生量%	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	83 %BOD/ThOD	OECD 301F
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	2.3 日 (t 1/2)	
フェノール	108-95-2	実験 生分解性	100 時間	生物学的酸素要求量	62 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリロニトリル-ブタジエンポリマー	9003-18-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

クレゾール-ホルムアルデヒド-フェノール ポリマー	9039-25-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酢酸エチル	141-78-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.68	
クレゾール酸（クレゾールを含む）	1319-77-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.95	
エタノール	64-17-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.35	
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.35	
メタノール	67-56-1	実験 BCF - 魚	3 日	生物濃縮係数	<4.5	
メタノール	67-56-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.77	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.3	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.9	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
フェノール	108-95-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.47	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： １１３３ 接着剤

輸送分類（IMO）：3　引火性液体

輸送分類（IATA）：3　引火性液体

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
労働安全衛生法：施行令別表第三第二項および第三項　特定化学物質
化管法：特定第１種指定化学物質
消防法：第四類第一石油類
船舶安全法、航空法：引火性液体類
労働安全衛生法：施行令別表第一　危険物

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
クレゾール酸（クレゾールを含む）	クレソール	該当	該当	該当
エタノール	エタノール	該当	該当	該当
ホルムアルデヒド	ホルムアルデヒド	該当	該当	該当
メタノール	メタノール	該当	該当	該当
メチルエチルケトン	メチルエチルケトン	該当	該当	該当
メチルイソブチルケトン	メチルイソブチルケトン	該当	該当	該当
フェノール	フェノール	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分

ホルムアルデヒド	ホルムアルデヒド	411	特定第1種指定化学物質
メチルイソブチルケトン	メチルイソブチルケトン	737	第1種指定化学物質
フェノール	フェノール	349	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション２：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１１：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。